

普及活動情勢報告（令和2年5月分）

須崎農業振興センター農業改良普及課

加工用ワサビの可販率アップを目指して ～加工用ワサビ巡回指導～



ワサビの生育状況を確認する
職員

津野山地域で加工用ワサビの収穫が始まりました。
昨年の調査結果から、栽培後半に十分な灌水を行うことで茎割れを防ぎ、可販率が向上する可能性が確認できました。そこで今年は巡回のたびに灌水を呼びかけたところ、茎割れが原因の品質低下をほぼ防ぐことができました。しかし、一部農家では、菌核病が発生し、病害の進展により可販率が低下してしまいました。
加工用ワサビは、中山間地域の複合経営品目の一つとして有望であるため、更なる増収に向けて当課はJ Aと協力して現地指導していきます。

目標を立てた農業経営が達成できるように！ ～津野山経営巡回～



チーム活動の様子

当課では、J Aと協力して新規就農者や経営改善に意欲のある農家を対象に、農家個々での目標設定支援とその達成に向けた巡回指導等に取り組んでいます。
令和2年度は、8名の農家を対象にしており、4月21日にはJ Aと巡回指導を行いました。4月下旬以降はコロナウィルスの影響もあり、現地での指導頻度は少なくなりましたが、J Aと連携して電話等で栽培状況を把握しながら活動を進めています。
今後も、チーム活動で対応し、関係者と情報を共有しながら農家個々の目標達成に向けて、支援していきます。